

「コロナ差別」からの教訓

地域人権教育指導員 平井靖彦

2020年の新聞のスクラップから

先日、研修会で「コロナ差別」という言葉を久しぶりに聞き、本棚から当時の地元紙スクラップ帳を出してみました。意外なことに私が最初にスクラップした新型コロナウイルス感染症関連記事は2月28日付でした。前日の「全国の学校に休校を要請」という記事が新聞1面に大きく取り上げられています。

国内で最初の患者が報告されたのは1月でしたが、私にとって1月中はまだ身近なものではなかったようです。ですから全校休校というニュースもどこか唐突であったと覚えています。

この日、休校の記事とともに2つの記事をスクラップしています。1つはジャーナリスト江川紹子さんの視界良好という記事。「新型コロナウイルスの情報発信／不安による人権侵害防げ」と題し、「対応にあたる医療関係者に敬意を払い、デマに惑わされず、できるだけ日常を保ちなが

らこの難局を乗り切りたい」とまとめられています。

もう1つは「トイレレットペーパー買い占め騒ぎ／県内」という記事。記事によると、SNSで「新型コロナウイルスの影響で品薄」との情報が拡散したため起きたということです。まさしくデマに惑わされた私たちの姿のニュースです。

水俣病・ハンセン病からの教訓

その後、医療関係者や感染者への差別、県外ナンバーの車への卵投げつけなど、さまざまな事象が起きていきます。

5月1日の新聞に「差別と排除／コロナでも」という見出しの記事があります。この日は水俣病公式確認64年目の日。当時の熊本学園大学水俣学研究センター長花田昌宣教授は「根拠のない恐怖や不安が感染者らの攻撃につながる雰囲気は水俣病と重なる」と述べられています。

また、2022年1月30日には、「ハンセン病療養所の退所

者でつくる『ひまわりの会』の中修一会長は「コロナ患者への中傷を見て、教訓は全く生かされていないと感じた」と強調」という記事が残されています。

熊本の重要な人権課題である水俣病やハンセン病の教訓が生かされていなかったということです。そのことを忘れてはならないと思います。

第19回ハンセン病市民学会

今年5月10・11日に熊本市で「第19回ハンセン病市民学会」が開催されます。同学会は2005年に、ハンセン病問題を考え、差別と偏見の解消につなげようと作られました。

研究者や弁護士、医療関係者だけでなく、広く一般市民にも開かれた会です。ホームページには「交流と検証と提言」を活動方針とし、「差別の現実から学び、回復者の声に学ぶ、そうした姿勢を貫きたい」と書かれています。私たちも市民の立場で参加し、学びたいものです。

守り継がれる

無形民俗文化財⑨

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆玉祥寺このみやおどり

春日神社(玉祥寺)の例祭前夜の2月27日に、新春を迎え豊作を祈願するために同神社の拝殿で行われる踊りです。

「このみや」の意味や由来、起源などについては定かではありませんが、今からおよそ560年前、春日神社創建時から伝わる神事といわれています。

どてらに編み笠をかぶり、腰に頭陀袋、背中には杵を背負った奇妙な格好の御大将2人が見守る前で、手ぬぐいをかぶったたすきがけの女装の男衆2人が、太鼓を叩きながら歌に合わせて踊ります。歌はもともと菊池氏の狩りの歌だったものが、農民の歌に変化したともいわれます。明治27年頃までは飾り笠を被った子どもの踊り手も御大将とともに集落全戸を巡って踊っていたそうです。また、太鼓のばちも現在は普通のばちですが、昔は小刀の柄の部分で叩いていたと伝えられています。

今年も2月27日(木)午後7時ごろから行われる予定です。



▶拝殿奥に座る御大将の前で舞う2人の踊り手。歌は各節とも讃頭の「御代の栄えは改まる」の歌詞から始まり、皆で唱和します



▶踊り手は顔におしろいを塗り、女装をします。昔はその年に嫁にきた女性の着物を着たといわれています

国史跡 菊池氏遺跡

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

菊池氏遺跡にまつわる、ちょっとおもしろい話を紹介します。

◆逃げ上手の若君

アニメ化もされた人気漫画「逃げ上手の若君」の主人公北条時行が、最近脚光を浴びています。実は時行と菊池氏は意外な接点があります。元弘3(1333)年、13代当主武時は、博多の鎮西探題(鎌倉幕府の出先機関)に討ち入り、壮絶な戦いの末、討ち死にをしました。

しかし、これが呼び水となつてか、わずか2カ月後、鎌倉幕府は滅亡します。時行は滅ぼされた鎌倉幕府の執権北条高時の遺児です。10歳にも満たない時行は落ち延びて、室町幕府を打ち立てた足利尊氏らと戦い続けた悲運の若武将です。

武時の討ち入りは、幕府滅亡の発端になった一面があります。もし、武時の討ち入りがなければ、鎌倉幕府は安泰で、時行は北条氏の御曹司として一生を終えたかもしれません。これも歴史の数奇な巡り合わせではないでしょうか。

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金) 午前10時～正午、午後1時～4時(福祉課)

お金にまつわる SNS型勧誘詐欺

スマートフォンを見ていると、「簡単な作業でお金が稼げる副業」「簡単にお金を増やせる投資」といった広告が流れてきます。しかし、簡単にお金を稼いどり、増やしたりする方法は絶対ありません。これらには何か裏があると思って、誘いに乗らないようにしてください。

今回は実際にあった詐欺被害の事例を紹介します。

①簡単な作業で稼げる副業

無料動画共有アプリで簡単に稼げるという動画を見つけ返信すると、別の無料アプリに誘導され、友達登録してやり取りした。動画を写真に撮る作業で数百円の報酬をもらえたが、そのうち高額報酬案件を紹介された。

すぐにやると申し出たら、無料通話アプリからさらに秘匿性が高いメッセージアプリを案内され、そこで高額案件についてやり取りするようになった。それは、15万円を指定口座に振り込むことが条件だったので、消

費者金融で借金して払った。

その後、入金を数回繰り返した、総額150万円を振込んだ時点で、やっとおかしいと気付き、「もう振り込めない」と連絡を入れたところ、やり取りが途絶え、サイトにも入れなくなった。

②簡単にお金を増やせる投資

SNSで知り合った女性に金融関係で儲かる投資案件があると言われ、暗号資産で5万円をサイト内口座に入金した。相手はさらに儲かるために追加で5千ドルの入金を求めてきたが、お金がないと断ると、「信用してもらうために、あなたに代わって入金する」と言われ、サイト内口座を確認すると入金した分が加算されていた。

出金を申し出た時、「投資運用で世話になった人に対し40万円の謝礼を払わないと出金できない」などの条件があり、借金して相手の口座に振り込んだ。おかしいと思って相手に苦情を伝えると、口座情報は見れなくなり、相手とも連絡が取れなくなり、借金だけが残った。

地域おこし協力隊通信

協力隊2年目を迎えました！ 市のデジタル推進のために活動中

■いきいき元気サポートラボ(菊池地区) 最終回! (9月)

5月から高齢支援課と共同で始まった、菊池地区を対象とした「いきいき元気サポートラボ」。9月の最終回では通いの場とビデオ中継でつなぎ、一緒にレクリエーションなどを行い、交流を深めることができました。事前にリハーサルをした際には、暑さによる機器の過熱が原因で長時間の中継ができないといった課題もありましたが、当日は最後まで無事に行うことができました。昨年10月から2月までは泗水地区を対象に開催しています。

■市文化祭でアプリやデジタル製品を紹介 (11月2日)

市文化会館で、市公式アプリケーション「きくち防災・行政ナビ」や手軽なデジタル製品の紹介を行いました。多くの人が展示ブースを訪れ、スマートフォンに「きくち

vol.76 || 菊池デジタル推進コーディネーター

山脇はるかさん



防災・行政ナビ」をインストールされました。

また、鍵の開け閉めをより快適にするスマートロックや、照明のスイッチなどをリモコンやタイマーで操作できるスマートスイッチなどの紹介も行うことができました。

デジタルリーダー育成講座を開催します！

地域に密着したデジタルリーダー育成のための講座です。スマホなどを教えてもらう側から教える人にステップアップしませんか。デジタル機器などの活用方法を共有します(右下二次元コードから要申し込み)。

と き 1月31日(金) 午前10時～正午
ところ 中央公民館 中研修室



【問い合わせ先】情報政策課 ☎0968(25)7249